



# ロータリーは 世界をつなぐ

(2019-20年度 国際ロータリーのテーマ)

## ROTARY CONNECTS THE WORLD

第12号 (通巻1345号)

2019-20 福島東ロータリークラブ会報

会長/大野直孝・幹事/清野修由・プログラム・クラブ会報委員長/國井雄一郎

### 第32回

## 例会報告

2020年1月31日(金)

○開会点鐘 (阿部 良樹副会長)

○ロータリーソング・『我等の生業』  
(ソングリーダー 長谷川俊夫会員)



○お客様紹介  
鈴木芳喜法律事務所 弁護士 駒田 晋一様  
古関裕而研究家 齋藤 秀隆様

○お食事

○会長あいさつ(代理) (阿部 良樹副会長)  
今日は大野会長がお休みなので変わって副会長の私がお挨拶を致します。

今年は、東京オリンピック年で開会まで175日、また福島県内の聖火リレースタートまでに55日に迫ってきており、日本国民・県民が大変盛り上がってきておりました。また、野球・ソフトボール競



技が福島市で開催されますので私自身大変楽しみにしております。

そんな中、中国武漢での新型コロナウイルスによる肺炎が確認され、今や全世界に感染が拡大し事態は大変深刻化しております。

今日現在、新型肺炎感染者は9,000人を超え、WHOで「緊急事態宣言」が発動されました。

こうした緊急事態が発生した場合には、全世界に向けてネット上ヘデマや誹謗中傷が数多く書き込みされ拡散され不安や動揺を生じさせられてパニックに陥りがちです。こういう時こそ過剰に反応しないで冷静に物事を正しく判断し対応しなければならないと思います。

特に福島県民は東京電力福島原子力発電所の事故で差別や風評被害など様々な体験をしておりますので特に気を付けなければならないと思っております。

また、福島東RC第45周年記念式典が、来月21日に迫っております。昨年暮れから実行委員を立ち上げ安齋文夫委員長を中心に準備を進めて来ております。

今日もまた例会が終了後、実行委員会の打ち合わせ・式典等のリハーサルを行います。

会員の皆様にはすでに役職が決まっておりますが式典の運営上滞(とどこお)りなく行うため、別

に追加で係をお願いすることもあるかと思しますのでご協力宜しくお願い致します。

会長あいさつは此のくらいに致しまして、齋藤秀隆様より、春から始まるNHK連続テレビドラマ「エール」の主人公小関祐而氏に関するスピーチに時間を取りたいと思います。

○幹事報告 (清野 修由幹事)



1. 例会変更のお知らせ

- 当クラブ、次週2月7日(金)は川俣そば夜間例会の振替休会となり、2月12日(水)が、川俣そば夜間例会となります。(福島駅西口バスプール集合・出発:17:15)また、キャンセルのご連絡は、2月6日(木)までお願いいたします。

2. その他のお知らせ

- 本日例会終了後、創立45周年実行委員会を開催いたします。
- 2月の理事会は、2月5日(水) 肴 18:30~となります。理事・役員の方はよろしくお願ひいたします。
- ロータリー日本財団、米山記念奨学会より確定申告用寄付金領収書が届きました。必要に応じて寄付金控除にご使用ください。

○各委員会報告

(a) スマイルボックス (柁木 茂会員)



●ゲストスピーチによせて。

阿部 良樹副会長	清野 修由幹事
安齋 文夫会員	高原 智会員
柁木 茂会員	八巻 正衛会長
西村 修次会員	網代 智明会員
佐藤 圭子会員	松坂 妙子会員
安齋 利昭会員	太田 哲会員
安齋 重夫会員	西條 徹会員
長澤 祐嗣会員	日下 直哉会員
吉田 政俊会員	山田 孝一会員
荻野 毅会員	山田 則光会員
佐藤 悦夫会員	谷口 隆会員

●ゲストスピーチに感謝致します。

三本杉栄広会員

(b) 入会式 駒田 晋一会員

(推薦者: 西村 修次会員)



≡ゲストスピーチ≡

古関裕而研究家 齋藤 秀隆様





## 古閑裕と内山金子

生立ち



藤原秀隆  
(文中敬称略)

内山金子(う  
ちやまきんこ  
1912~1980)は  
明治45年、愛  
知県豊橋市に  
生まれた。父は  
内山安藏、母は  
みつとといった。  
父は陸軍獣医  
部につとめ、清

州などにも勤務していたが、退職後は軍納入の御  
用商人となり、馬師商や軍に納入する馬糧等幅広く  
扱って繁盛していた。しかし父は金子12歳の時  
逝去した。その後は母一人の稼ぎで生活していた  
という。兄は長兄と6人姉妹である。

金子の性格はどうであったか。姉の市川清子  
(父の亡き後、一家を支えた)によると、「金子は  
子供の頃から活発でおてんば、音楽と文学が好き  
で、いつも空想の世界に浸っていた」と言う。「将  
来はオペラ歌手になりたい」とも言っていたよう  
だ。

家から自転車まで40分ほどはなれた豊橋市中心  
部に豊橋高等女学校(現在は豊橋東高等学校)が  
あり、姉妹は代わる代わるその学校に通い、家は  
まるで「女学校の寄宿舎」のようであったと清子  
は言っている。

その後長兄は満州に赴き、その地で生活してい  
たらしいが、詳細は不明である。またその時点で  
内山家は断絶したという。

女学校を卒業した金子は、「兄に会いたい」と、  
女学校卒業とともに満州旅行にでかけ、半年後帰  
国したが、その途中船が盛岡・難波し、九死に一  
生を得たといわれている。

(写真 昭和5年18歳の内山金子)

## 古閑との出会い

昭和5年1月、古閑裕而(1909~1989)  
作曲の舞踊組曲「竹取物語」他4曲が、  
イギリスのロンドンデューンエスター楽譜出版  
社の作曲懸賞コンクールに入選した事が  
全国紙に報道された。

その記事を豊橋で見た金子は、「私、手  
紙を書いて、古閑さんに楽譜を送って貰  
おうかしら」と、早速フアンレターを古  
閑のもとに送った。金子が「竹取物語」  
に反応したのは、小学校の学芸会で「か  
ぐや姫」の主人公を演じて、竹取物語に  
一きわ思い入れが強かったことによる(市  
川清子回想)。

金子のフアンレターに真心を感じた古  
閑は、わずか8ヶ月の間に行李1つ分の  
手紙をや取り取りし、同年6月1日、二人  
は結婚式を挙げた。

そのいきさつはこうである。同年5月  
になって、経済的な理由もあってイギリ  
ス留学を断念した古閑は、勤務していた  
伯父の経営する川俣銀行を退職し、金子  
のいる豊橋にでむいた。

子息正裕の言葉で言えば「芸術に生き、  
愛に生き」の心境で、金子に「私にはあ  
なたしかおりません」と訴え、その後内  
山家に結婚の挨拶に行ったそうである。

## 二人の往復書簡から

ここで「古閑裕而物語」から、当時の  
二人の手紙文を紹介しよう。

まず内山金子の手紙から、  
<貴方のおたより、私はほんとに嬉しく  
拝見しました。「貴方を知り得た」という  
事は私の一寸したウィットによりますが、  
それ以上に運命の糸を操る神(?)の力によ  
ると考えられます。

あの新聞が私の手に入り、心に、しつ  
かりと止まり、更に思い切って差し上げ

1



「コロムビアに採用されるまでは二ヶ月  
ほどかかり、それまでは姉夫婦の居候生  
活をしていました。時には一杯のかけそ  
ばを二人ですするような時もありました。  
世話になっていた義兄の給料が百二十円  
くらいだった時に、古閑の給料は破格の三百  
円と驚めてくれ、母は涙ながらに仏様に  
報告していました」(清子回想)

専属契約を終えた古閑は、妻の音楽学  
校(帝國音楽学校)への進学も考え、世田谷  
の代田に居を構えた。

(写真 昭和6年世田谷代田付近での新  
婚の二人)

## 憧れの満州旅行

昭和12年、古閑と金子は、満州にいる  
長兄や妹夫婦に会うために満州へ旅立っ  
た。満州は金子にとって、生涯2度目の  
大旅行であった。ふたりは7月下旬神戸  
を旅立った。大連では兄夫婦に会い、ま  
た新京では妹夫婦と会うなどして、金子  
の父も参戦した旅順に行き、水師營で記  
念撮影をしたりもした。

たお手紙により、貴方がご返事を下さっ  
た。一隅然と言いましようか、何て言  
ましよう、狭いようでも広いこの世界に、  
こうして結ばれた魂と魂。お互いが真剣  
に生一本な心の持ち主だったら、必ず偉  
大な芸術を生み出す事ができると信じてま  
す>(昭和5年3月12日金子より)とある。  
裕而は次のような手紙を金子に認めて  
いる。

<曇らかな晩春の日。葉桜の陰でテニス  
に疲れた体を休めて、静かにメロディー  
を口ずさみますと、本当に晴れ晴れとし  
ます。

昨夜疲れた体で創作に励みました。快  
活なリズム、ハーモニーが体の中から流  
れ出ます。五線紙はすぐに、二、三枚と  
書かれていきます。星、シャツの中に貴  
女のご写真を入れて、汗で汚れたのでは  
ないかと心配しつつ、そっと出してみま  
した>(昭和5年4月27日裕而より)

多くの書簡によって愛を育み、以後50  
有余年にわたってふたりは苦楽をともに  
する事になるが、現実には決して平坦な道  
ばかりではなかった。

## 上京とコロムビア入社

福島市新町(大正時代に大町から転居)  
の「喜多三」で新婚生活を送っていた古  
閑夫妻は、東京に出て仕事をしたいと決  
断した。とりあえず金子の義理の兄の住  
む阿佐ヶ谷の家で借住し、レコード会  
社回りをするうちに、山田耕柞の口利き  
もあり、コロムビアレコードと専属契約  
を結ぶ事になった。

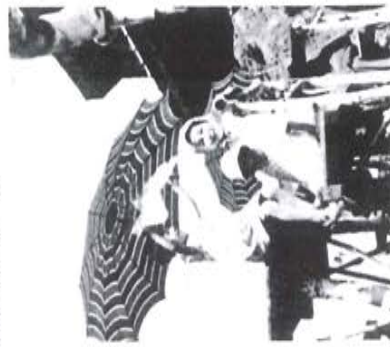




夫妻は長い旅行を終えて大連港から帰国の途についた。虫が知らせたのか、金子は兄との別れのテープを握って泣いていた。兄たちとはそれから十数年、会う事ができなかつたのである。(写真 昭和12年満州旅順水師營)

#### 避暑地軽井沢の思い出

昭和13年、古閑夫妻は軽井沢に避暑にかけた。その時金子は、ある有名なカメラマンから声をかけられた。「なんと美しい方だ。是非写真をとらせて頂きたい」と一枚の写真撮影された。パラソルと一緒に撮影された写真は、金子のお気に入りの写真となって、現在も古閑裕而記念館に飾られている。



続いて同じ避暑地の出来事である。当地の公会堂でピアノを借りて古閑が演

奏し、金子が歌を歌っていた時のことである。偶然、上野音楽学校(現在の東京芸術大学)で教授をしていたヘッサート先生が通りかかき、金子の歌声をきいて絶賛したという(次女高橋紀子回想)。

(写真 昭和13年軽井沢での金子と子供たち)

#### 飯坂疎開と腸チフス

戦争も末期の昭和20年6月、金子は福島市に疎開させていた子供たちを飯坂に移すため、福島市に向かった。その直後「金子さんが腸チフスにかかり重態だからすぐ福島に帰るように」との連絡が入り、古閑は直ちに帰福した。懸命の手当もあり奇跡的な回復をし、8月10日ころ福島市公立病院から退院して、飯坂に戻った。

古閑は放送局の仕事があり、すぐさま東京に帰ったが、新橋駅で終戦の玉音放送があり、当分仕事はできないと覚悟をして福島に戻った。一方金子は病床からはい出して玉音放送を聞いたという。福島市の上空では午後から赤い日の丸のついた日本の飛行機が編隊を組んで飛び回り、「あの姿も見られなくなるとはいいないか?と悲しくて涙が流れた」と言っていた。(自伝「鐘よ 鳴り響け」)

古閑は昭和20年11月、福島市立飯坂小学校の校歌作成を依頼され、その発表会が帰京前の慌ただしいさなか開催された。和服姿の金子は、長女雅子のピアノ演奏で大観衆の前で堂々と素晴らしい歌声を披露し、絶賛を浴びた。

オペラ歌手としてデビュー

昭和24・25年頃、古閑は放送局の依頼で創作オペラ作曲する事になった。それは「朱金昭(チュウキンチョウウ)や「ト

ウランドット」「チガニの星」の三編のオペラ作曲であった。オペラは古閑にとつて一番書きたい分野であった。オペラの歌い手は、藤山一郎・山口淑子そして金子であった。「それぞれの作品は30分にわたる放送を二・三回連続した大作であった」と古閑は述べている。当時声楽を学んでいた金子はそのドラマチック・ソプラノに磨きをかけていた。

「NHKの第一スタジオで、あれだけの声の人は初めてだったよ。やはり僕のおさんだねえ」と古閑は金子を誉め、「自分の多忙や子供のために、次第に勉強の自由を失っている妻にとって、これらのオペラが最後になってしまった。その意味でも忘れがたいオペラである」(自伝)と述べた。

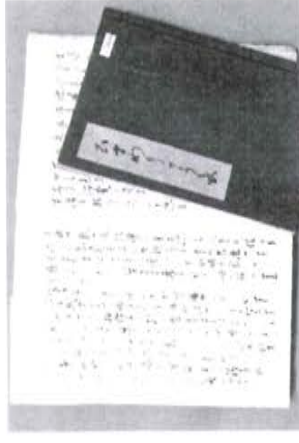
#### 福島市名誉市民に推戴

古閑は昭和54年、数々の業績から福島市名誉市民第1号に推戴された。以後福島市では名誉市民は推戴されていない。金子は清氣をおして授賞式に臨んでいる。



(写真 昭和54年福島市名誉市民に推戴された古閑裕而と妻金子)

金子の晩年



金子の晩年の様子を長男古閑正裕は、次のように語っている。

「母は昭和51年頃から乳がんになり気分が落ちました。母は三回入院し、二回手術しました。入院前に私がショパンの幻想即興曲を弾いたところ、涙を流して聴いていました」(「古閑裕而物語」)。

昭和55年7月、金子は逝去した。古閑の悲しみはあまりにひどく今後の日常生活ができるのだろうか、友人宮尾利雄は危ぶんでいた。

金子は私家集「ひまわりのうた」の中で惜別の情を歌っていた。

「激痛をなだめんとして腕の浴室にたちわれ生さんとす」

「美しと愛づる汝が腫をそのままに抱きてゆかましまし命の果てに」

(写真 金子の私家集「ひまわりのうた」)

#### 参考文献

『鐘よ 鳴り響け』 古閑裕而著

『古閑裕而物語』 齋藤秀隆著

取材ご協力ご芳名

古閑正裕様 高橋紀子様 市川清子様

福島市教育委員会文化課様

写真提供 古閑裕而記念館様



○閉会点鐘

(阿部 良樹副会長)

梁川RC会長 秋葉 洋様  
だて西RC会長 阿部 真樹様

○福島東RC奨学生(高校生)基金寄付

山田 則光会員 八巻 正衛会員  
谷口 隆会員 佐藤 圭子会員  
佐藤 悦夫会員 長谷川俊夫会員  
荻野 毅会員 柁木 茂会員  
山田 孝一会員 高原 智会員  
日下 直哉会員 安斎 重夫会員  
太田 哲会員 安斎 利昭会員  
三本杉栄広会員 松坂 妙子会員  
網代 智明会員

○幹事報告

川俣RC幹事 古川 壮一会員  
ご参加各クラブ幹事様

○閉会点鐘

川俣RC 池田 義寛会長

## 懇親会

司会 川俣RC幹事 古川 壮一会員

### 第 33 回

### 例会報告

2019-20 年度

国際ロータリー第 2530 地区 県北第二分区

飯坂RC・保原RC・福島東RC

梁川RC・だて西RC・川俣RC

合同夜間例会

2020 年 2 月 12 日 (金)

於：割烹 新川

ホストクラブ：川俣RC

進行 川俣RC SAA 氏家 秀幸会員

○閉会点鐘 川俣RC 池田 義寛会長

○ロータリーソング・『奉仕の理想』

川俣RCソングリーダー 菅野 一弘会員

○四つのテスト唱和 川俣RC職業奉仕委員長

○お客様紹介・参加クラブ紹介・歓迎のあいさつ

川俣RC 池田 義寛会長

○ガバナー補佐あいさつ

県北第二分区ガバナー補佐 西川 博美様

○参加クラブ会長あいさつ

飯坂RC会長 千葉 政行様

保原RC会長 木幡 睦人様

福島東RC会長 大野 直孝様

○乾

杯 【川俣RC】パストガバナー補佐

紺野 義人会員

○歓

談

○アトラクション(ゲーム)

進行：川俣RC親睦委員長 八巻 大会員

○「手に手つないで」

川俣RCソングリーダー 菅野 一弘会員

○締

め

川俣RC会長エレクト 山口 京子会員





第 34 回

例会報告

2020年2月14日(金)

○開会点鐘 (大野 直孝会長)

○国歌斉唱

○ロータリーソング・『奉仕の理想』  
(ソングリーダー 安斎 重夫会員)



○四つのテスト唱和  
(職業奉仕委員会 山田 則光会員)



○お客様紹介

○お 食 事

○会長あいさつ (大野 直孝会長)





皆様こんにちは。

一昨日の夜は、川俣町で行われました合同例会に大勢の会員にご出席いただき有難うございました。また、お疲れ様でした。

さて、本日は2月14日、世間ではバレンタインデーと呼ばれています。

日本では、この日に女性が男性にチョコレートを贈る風習があると言われていますが、本来、バレンタインデーというのは何を意味するのでしょうか。また、何故、この日に女性が男性にチョコレートを贈るようになったのでしょうか。

そこで、歴史を紐解いてみたところ、3世紀のローマにバレンタインという名の司祭がいたそうです。この人は、(一説によると)当時の皇帝クラウディウス2世が強兵策の一つとして兵士の結婚を禁止したことに反対し、多くの兵士を結婚させたそうです。

そのため、皇帝の怒りをかって、ついには殺されてしまったそうです。この殉教の日が西暦270年2月14日であったそうです。

いつしか、バレンタイン司祭は聖バレンタインとして敬われるようになり、2月14日は聖バレンタインデーとして司祭の死を悼む日となったのです。

その後、14世紀ころからは、2月が春の訪れとともに小鳥もさえずりを始める、愛の告白にふさわしい季節であることから、この日がプロポーズの贈り物をする日になったとも言われているそうです。

そして、時代はずっと下り、昭和11年(1936年)2月12日、神戸にあるチョコレート会社(モロゾフ)が神戸で発行されていた外国人向けの英字新聞にバレンタインデー向けチョコレートの広告を出したそうです。

これが基になって、神戸が日本のバレンタインデー発祥の地と言われるようになったとのことでした。

その後、昭和33年(1958年)2月には、メリーチョコレート株式会社が新宿伊勢丹の売り場にバレンタインセールと手書きの看板を出しましたが、3日間で売れたのは30円の板チョコ5枚と4円のカード5枚だけであったそうです。

さらにその後、森永製菓などがバレンタイン企画を新聞広告などによって広報し、チョコレートの販売を促進するようになり、中には、バレンタインデー用のチョコレートを買った人々を劇場に招待するとか、当時は大変貴重であった腕時計をプレゼントするといった新聞広告もあったそうで

す。

そして、昭和40年代末ころからバレンタインデーにチョコレートを贈るといことが盛んに行われるようになったそうです。

[以上、日本チョコレート・ココア協会の資料を参照しました。]

ところで、2月14日は、陸奥国福島藩の板倉家初代藩主板倉重寛(いたくらしげひろ)侯の曾祖父板倉重昌侯が亡くなった日だそうです。もっとも、板倉重昌侯が亡くなったのは、寛永15年(1638年)1月1日だそうです。この日が新暦(太陽暦)では2月14日に当たるそうです。

板倉重昌侯は、三河深溝(みかわふこうず)藩の藩主として、寛永14年に島原の乱の鎮圧に出陣し、九州の諸大名を指揮しましたが、原城を落とすことができませんでした。

そのため、徳川幕府は軍の立て直しを図るべく松平信綱侯(武蔵国川越藩主)を派遣することとしました。板倉重昌侯は、この幕府の処置を恥として寛永15年1月1日、松平信綱侯が到着する前に原城を落城させようとして総攻撃をかけたものの、玉碎的な戦死を遂げたとのことでした。

[以上、板倉神社のホームページを参照しました。]

## ○幹事報告

(清野 修由幹事)



### 1. 其他のお知らせ

- 当クラブ次週2月21日(金)は創立45周年記念式典・祝賀会となります。(集合:15:30 3Fナチュラル)
- 例会終了後、創立45周年実行委員会を開催いたします。

## ○各委員会報告

(a) 2月誕生祝 (西村 修次会員)

齋藤 武秀会員 2月16日

\*おめでとうございます\*

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

(b) スマイルボックス (吉田 政俊会員)



● 創立45周年記念式典打合せによせて。

- |         |         |
|---------|---------|
| 大野 直孝会長 | 清野 修由幹事 |
| 安齋 文夫会員 | 阿部 良一会員 |
| 榎木 茂会員  | 網代 智明会員 |
| 西條 徹会員  | 長澤 祐嗣会員 |
| 吉田 政俊会員 | 太田 哲会員  |
| 西村 修次会員 | 日下 直哉会員 |
| 阿部 良樹会員 | 國井雄一郎会員 |
| 山田 則光会員 | 高原 智会員  |
| 山田 孝一会員 | 佐藤 悦夫会員 |
| 荻野 毅会員  | 谷口 隆会員  |
| 鶴木 薫会員  | 安齋 利昭会員 |

● バレンタイン期待していません。

八巻 正衛会員

● 馬鹿ジジーとお笑い下さい。孫が東北大医学部に合格しました。

安齋 重夫会員

● 打合せよろしくお願致します。

三本杉栄広会員

(c) 「友」2月号紹介 (八巻 正衛会員)



創立45周年記念式典打合せ

安齋文夫実行委員長



○閉会点鐘

(阿部 良樹副会長)

○福島東RC奨学生(高校生)基金寄付

- |         |         |
|---------|---------|
| 大野 直孝会長 | 清野 修由幹事 |
| 谷口 隆会員  | 八巻 正衛会員 |
| 山田 孝一会員 | 阿部 良一会員 |
| 網代 智明会員 | 安齋 重夫会員 |
| 三本杉栄広会員 | 佐藤 圭子会員 |
| 吉田 政俊会員 | 太田 哲会員  |
| 榎木 茂会員  | 佐藤 悦夫会員 |
| 荻野 毅会員  | 日下 直哉会員 |
| 山田 則光会員 | 高原 智会員  |
| 長谷川俊夫会員 | 鶴木 薫会員  |

